

第 20 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 20 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 28 年 10 月 17 日（月）午後 2 時～ 4 時
場 所	杉並第四小学校 図書室
出 席 者	懇談会委員 23 名（欠席 5 名）
傍 聴 者	4 名
次 第	1 新委員自己紹介 2 新校の教育方針案について 3 新校の校名について 4 新校の校章、校歌について 5 その他
資 料	資料 1 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会委員名簿 資料 2 新校の教育方針案 資料 3 アンケート実施方法について 資料 4 各校の校章・校歌について 資料 5 既存統合校の校章・校歌等の選定方法

会長	<p>それでは、第 20 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催いたします。</p> <p>本日は、高田委員、藤崎委員、増田委員、織茂委員、山寄委員から欠席の連絡を頂戴しております。</p> <p>あと、傍聴の方もおいでいただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では最初に、配付資料の確認をさせていただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">（配付資料確認）</p> <p>特に不足はございませんでしょうか。</p> <p>それでは次第に入ります。</p> <p>資料 1 をご覧ください。懇談会の委員名簿でございます。</p> <p>このたび、委員に若干の変更がございまして、お二人の委員が変わったのですが、山寄委員が欠席ですので、横関委員から自己紹介をいただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。</p>
（新委員自己紹介）	
会長	<p>ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>山寄委員につきましては、今度お見えいただいたときに改めてご挨拶いただきたいと思います。</p>

	<p>次第の2番目に入ります。「新校の教育方針」につきまして、前回に引き続き、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>では、私からご説明申し上げます。</p> <p>前回ご意見をいただいたところを修正してまいりましたが、「新しい学校のコンセプト」「キャッチフレーズ」「教育方針」については、変更はございません。</p> <p>「指導の重点」ですが、こんなところを重点的に指導していきたいというところを前回4つであらわしていたのですけれども、もう少し整理したほうがいいのではないかというご意見を頂戴しましたので、新たに組み直してみました。</p> <p>5点にまとめてあります。</p> <p>1つ目、最初のところはあまり変わっていないのですけれども、「主体的・対話的な学びを大切にしていきます」ということで「一人ひとりの児童・生徒が自ら考え、みんなと共に語り、考え、共に学びを深めていく、主体的・対話的な学びを重視する学校です」。このあたりは次の学習指導要領が目指している大きなところでございますので、文言につきましては若干それにそろえて書いてあります。</p> <p>2つ目でございます。「まちのコミュニティの核となる学校を目指します」。「まちの人々と共に、これからの学校やまちのあり方を考えていきます。そして、学校が子どもたちやまちの人々の交流・憩いの場となるように、みんなでこの学び舎を育てていきます」ということで、まちの皆さんと一緒に学校をつくっていきましょうということでございます。</p> <p>それから3つ目ですが「地域の就学前施設と連携し、幼児期の学びを生かしていきます」。現在も保育園との連携は進めておりますが、子供園、保育園等の地域の就学前施設との連携を継続・発展させ、幼児期での体験や学びを小学校、中学校の9年間の一貫教育につなげることで、連続した学びをより豊かなものにしていきたいというところでございます。</p> <p>4つ目、「互いの人格を尊重し、共生社会の基礎づくりを目指します」。従来からインクルーシブという言葉で語ってきたところですが、そういう言葉ではなくて、「共生社会」と書きかえております。「誰もが自分らしく幸福に生きる社会の実現を目指すために、人権教育を推進し、子どもたちに人権尊重の精神を培います」ということでございます。</p> <p>最後の5点目、これは前と変わっておりません。「すべての教職員は『チーム高円寺』の意識で学校づくりに取り組みます」。「教職員もまちの一員として、まちの学校づくりにチームとして取り組んでいくとともに、学校だけでなく地域全体も一体となって教育を行っていく学校」を目指していきたいという思いです。</p> <p>以上となりますが、前回に引き続き、委員の皆様からご意見を頂戴したいのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>前回、就学前教育施設と、この共生社会という部分を分けていただきまして、非常にわかりやすくなったかと思えます。</p> <p>今回「人格を尊重し、共生社会の基礎づくり」という点は、これはまさにインクルーシブかと思うのですけれども、説明の後半の人権教育はどちらかという道徳なのかと私は感じるところです。道徳教育とインクルーシブ教育の接点が、微妙にわかりづらい</p>

	<p>です。当然教育の観点から考えられたと思います。私は素人ですので、一意見として、お話をさせていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、このインクルーシブの「人権教育を推進し」という点は、この後もまた考えてはいきたいと思いますが、ほかに大きなご意見がなければ、方針案としてはこれを基本的なところとして進めていきます。</p> <p>ただ、この後、開校1年ぐらい前には、新しい学校の教育課程をつくるものになりますので、引き続き我々も考えてまいります。再度委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>内容ではないのですけれども、「子ども」というのが漢字と平仮名とあるのですけれども、何か意味がありますか。</p>
会長	<p>「ども」は平仮名に統一したいと思います。</p>
委員	<p>先ほどのインクルーシブの項目なのですけれども、この題名は「人格」で、本文では「人権尊重」で間違いないでしょうか。</p>
会長	<p>そうですね。</p> <p>「人権教育」というと、若干ニュアンスが変わってくるところがあるので、ここはまた検討いたします。</p>
委員	<p>一応お示しいただいたのは、このとおりのことと理解してよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>いずれにせよ、またこの後精査しながら、30年度にはもう1回委員の皆様にも考えていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。では、一応これが基本的な考え方のいろいろなところを進めていく根っこのところになりますので、ご理解いただいて、また再度、開校1年前に再検討という段取りで進めていきたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題にまいります。次第の3番目でございます。「新校の校名」についてご審議いただければと思います。</p> <p>前回、地域に向けた校名アンケートに提示する具体的な候補名につきましてご議論いただきました。ありがとうございました。</p> <p>皆様からいただいた案を6つに絞ったところまで、現在きております。</p> <p>そして今回、アンケートの実施にあたり、詳細を詰めていきたいと思っております。アンケート用紙等もご用意しておりますので、まず、事務局よりご説明いただけますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>では、新校の校名の検討方法につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>資料3と、参考資料1「新しい学校づくりニュース第5号」のたたき台を使用してお説明させていただきます。</p> <p>委員の皆様アンケート結果から、前回さまざま意見交換していただいて、組合せ案を6個まで絞ってきていますので、それをもとにアンケート用紙のたたき台を作成しております。参考資料1の「新しい学校づくりニュース」の第5号のたたき台をまずご覧ください。</p>

体裁、表現等は、これからまた学校とも相談しながら詰めてまいりますけれども、本日委員の皆様からのご意見も伺って、よりわかりやすいニュース作成に努めてまいります。まず、募集方法や内容を精査していただきたいと思っております。

表面に「アンケートにご協力ください」と明示し、小中一貫教育校の名称と小中学校名について懇談会で意見交換していますという冒頭となっております。

「小学校と中学校を総称する『新校名』と小中学校名の組み合わせについてアンケートを行います。応募方法等については、中面の募集要項をご確認の上、ご応募してください。なお、新校名等の正式な決定は、懇談会で」という流れを簡単に記載しております。新校名と小中学校名の違いの説明が必要という意見がありましたので、左下に「新校名」は「施設一体型の小中一貫教育校の呼称です。開校後は、一般的に新校名を使用することになります。なお、小学校名や中学校名は、卒業証書や出席簿などに使用しません」と説明しております。

あと、中面、見開きをご覧ください。

募集内容については、組合せ案を提示して1つ選択していただくか、新たな候補名の自由記入も可としております。

今残っている組合せ案6個、読み上げさせていただきます。

高円寺学園、高円寺小学校、高円寺中学校が1つ。

2つ目に、高円寺学園、杉並高円寺小学校、杉並高円寺中学校。

3つ目に、高円寺学園、高円寺学園小学校、高円寺学園中学校。

4つ目に、高円寺学舎、高円寺小学校、高円寺中学校。

5つ目に、高円寺学舎、杉並高円寺小学校、杉並高円寺中学校。

6つ目に、高円寺学舎、高円寺学舎小学校、高円寺学舎中学校。

ということで、新校名については「学園」と「学舎」、小学校、中学校名については、統一して高円寺小中学校なのか、杉並高円寺小中学校なのか、学園もしくは学舎小中学校なのかというところで、絞られてきたと思います。

前回の意見では、何が頭につくかで印象も変わるという話がありましたので、注意書きとして、「正式名称は『杉並区立小中一貫教育校〇〇学園もしくは学舎』、その下は『杉並区立〇〇小学校、〇〇中学校』となります」というイメージを掲載しました。

次にこの組合せ案が残った理由を掲載しております。

「地域にある学校ということから、地域名である高円寺を使いたい。」

「子どもたち、保護者、地域の方にも親しまれる、わかりやすい名前が望ましい。」

「新校名、小学校名、中学校名が同じで統一されているほうが、実際に通う子どもたちにとってもわかりやすい。」

『杉四』『杉八』『高中』など、略称の呼びやすさも大切。」

「3校での新しい学校になるので、杉四小、杉八小、高円寺中という名称に固執せず新しい名前が望ましい。」

「地域の多くの方が納得できる全く新しい名前をつけるのは難しい。」

ということで、全体を通した意見をまず紹介しております。

具体的な理由として、高円寺学園が高円寺地域の小中一貫教育校として最もわかりや

すい名称ではないか。

高円寺地域がひとつの学び舎と教育方針を考える新校にふさわしい名前として高円寺学舎がよいのではないか。

小中学校名につきましては、わかりやすい高円寺小学校と学園・学舎、小学校がありますが、現在の校名から変わらなく、新しいイメージがわからないため、「杉並」をつけた案もあってもいいのではないかという意見から、現在6個になっています。

募集期間については、これから決めていくことになります。1カ月程度の募集期間を考えております。

応募できる方は、杉四小、杉八小、高円寺中の通学区域内にお住まいの方、もしくは在学している方。保護者も含まれます。

応募方法については、先ほどの組合せ案の1から6までの中から最もふさわしいと思われる記号を1つ、または新校名、小中学校名の組合せ案で新たないい案があれば記載をお願いしております。選択理由も記載をお願いしております。

要件としては、住所、氏名、在学生であればその学校の名前も記入いただきます。様式は特にありませんが、郵送・FAX・Eメールのいずれかにより応募先へお寄せいただくことになります。

下のほうに応募様式例と、切ってはがきに貼れば送れるサイズの、フォーマットを掲載しております。

候補選定につきましては、皆さんのアンケート結果から考えていくこととなり、応募数の多寡のみではなく、選定理由なども含めて、懇談会で再度検討しますと、あくまで多寡ではないということをおたっております。

アンケートのたたき台としては、以上となります。

あくまでたたき台ですので、一つひとつ確認していただきたいと思ひまして、資料3に整理してございます。

アンケートたたき台の項目を抜粋したものがまず「意見募集方法案」になります。

「応募内容」は組合せ案から選択（自由意見も可）・選択理由や提案理由を書いてもらいます。

「配布範囲」については、基本的に新しい学校づくりニュースの通常の配布先、下のほうに参考として載せておりますけれども、4,500部ぐらい毎回ニュースを配っており、それ以外に「募集対象の区域内」約2万世帯に戸別配布します。募集対象は杉四小、杉八小、高円寺中の通学区域内にお住まいの方と在学している方となります。

「応募方法」は、郵送、FAX、Eメール。氏名・住所は応募要件とする。

「募集期間」は、1カ月程度を考えております。

この中で、確認していただきたいのが2番「確認事項」になります。

「応募内容」。まず「提示組合せ案の再検討」です。6個というのは、やはり多いのではないかとかという考え方もあるかと思ひます。そこをまず精査していただいたほうがよろしいかと思ひます。

次に、以前も意見をいただいております、複数選択可とするのか、1つに絞っていただくかを確認をしていただければと思ひております。

	<p>さらに「自由意見の有無」です。これまでも自由意見はあったほうがいいのかという意見がありましたので、枠は設けてございます。そのままいくかどうかを確認していただければと思います。</p> <p>「配布範囲」。「戸別配布範囲」なのですけれども、杉四小、杉八小、高円寺中の通学区域内でよいかという点についてもお願いします。</p> <p>「募集対象」の課題があるのですけれども、新しい学校づくりニュースの配布先というのは、杉三小と杉十小、高南中にも児童・生徒、あと学区域内的の町会、幼稚園、保育園にもお配りしています。あくまでこれは懇談会の進捗状況のニュースも兼ねておりますので、配ることは問題ないかとは思いますが、そういった方々から応募があった場合の取り扱いについて念のため確認いただければと思います。</p> <p>また、その杉四小、杉八小、高円寺中の区域内に住んでいないけれども、指定校変更等で、その学校に行っていた卒業生の方の意見の取り扱いも検討いただければと思います。</p> <p>「応募方法」です。以前、委員の方から、選択理由、提案理由は自由で、要件にしないでいいのではないかというご意見がありましたので、理由がない場合の意見の取り扱いも確認いただければと思っております。</p> <p>以上の確認事項につきまして、アンケート実施に向けて整理していただきたいと思っております。できればきょうの懇談会で大体整理がつくと思っておりますので、戸別配布期間も設けた上で、1カ月程度の応募期間をとり、年内の締め切りになれるようアンケートを実施できればと考えております。確認事項等、様々ご意見くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>私からは以上ですので、会長、進行よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では、校名アンケートについて今ご説明いただきましたが、実施方法について整理された資料をつくっていただいておりますので、これに沿って進めていきたいと思っております。</p> <p>その後、表現等についてもご意見を伺ってまいります。</p> <p>まずはじめに、今6個に絞ってある組合せ案についてでございます。</p> <p>アンケートの結果を参考にするのであれば、もう少し絞ったほうがいいのかという意見もあろうかと思っております。懇談会で、これならどれになってもいいというところまで絞っておいたほうがいいのかと思っておりますので、組合せ案について忌憚のないご意見を伺います。よろしく申し上げます。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>では、若干時間を置きたいと思っておりますので、ご近所の委員と相談していただければと思います。</p>
(相談中)	
会長	<p>それでは、数分間、ご近所で意見交換していただきました。</p> <p>では、応募内容についてご意見いただければと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>杉四、杉八、高中に在学している方の応募は、別に学校内で集めるということで問題ないわけですね。</p>

会長	その辺も、きょうご意見を頂戴していきたいところです。
委員	<p>学校在学ということで、学校経由で配るのであれば、学校の担任の回収という形もありではないかと思います。</p> <p>あと、当然小学校1年生にも配布するかと思いますが、「学舎」は読めるでしょうか。ルビ振りをお願いしたいと思います。</p>
会長	わかりました。
委員	あと、応募要件として住所が学区域内かどうかという判断も含めてなのですけれども、記載がない場合の取り扱いについても、決めておく必要があると感じました。
会長	ありがとうございます。いろいろご意見頂戴しましたが、まず、この組合せ案についてから順繰りにいきたいと思うのですけれども、今6つの組合せ案、プラス自由記述という流れですが、ここについてはいかがでしょうか。
委員	<p>この間、すごく考えてここまで絞ったのですけれども、今こうやってぱっと見ると、何が違うか明瞭ではない感じに思ったのが1つです。</p> <p>あと、「学舎」とか「学園」というのは、今調べたら「学校」という意味も含まれているので、例えば「高円寺学園小学校」や「高円寺学舎小学校」は、もしかしたら重複する表現にあたるのではないかという印象を受けました。その辺を皆さんのご意見も聞きたいのですが、新校名はいいとしても、小学校名と中学校名に関しては、もしかしたら避けてもよい案かとも思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>「学園小学校」「学舎小学校」というのは重複するので、これはなくてもいいのではないかとこのところでございます。それを抜くと、候補が4つとなります。ほかのご意見はありますか。</p> <p>では、その学園と学舎を抜くというところに進んでよろしいでしょうか。候補4つということになります。</p> <p>ですので、整理しますと、高円寺学園小学校、学園中学校の3番。それから、高円寺学舎小学校、高円寺学舎中学校の6番、これはなくていいのではないかとこのところでございます。いかがでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	1点だけ確認していただきたいことがあります。前回の最後のほうで明確な意見がないまま残っている案があります。杉並をつけるかつかないかです。1回なくしたと思いますが、最後の最後でもう1回復活したので、とりあえずは案に入れてきました。杉並区立杉並何とか学校がしつこいというのが理由で1度消えたかと思います。その議論を本当はしていただきたいのですが、今違うものが消えてしまったので大変申し上げにくいのですが、共通認識を持ったうえで案として出したほうがいいかと思っております。
会長	そうでしたね、前回、杉並区立杉並高円寺小中学校とを案にするかしないか意見はありましたが、とりあえずここでは残っております。いかがでしょうか。
委員	私も前の資料を見せていただいて、皆さんいろいろご意見が出ていて、ただ、杉並区立杉並ですよね。杉並杉並ついでしてしまうから、これはいらないかと思っておりましたけれども、ただ、そうすると2つですよね。だから、どうしたものかと今思っていました。

委員	<p>ただ、現状としましても、杉並区立杉並第八小等になっているので、杉並杉並でちょっと長いかは私も思ったのですけれども、今考えると別に問題はないように思います。</p>
委員	<p>杉並第四小学校、第八小学校は、杉並の4番目、8番目という意味合いで杉並がどうしても必要だったと思います。今度高円寺ですから、別に杉並杉並にしなくても、関東近県の方とかは、高円寺というと、多分もう全国区ですから、杉並をつけなくても、イメージはきっと湧くのではないかと思います。</p>
委員	<p>杉並和泉学園では、杉並和泉学園新泉和泉小、和泉中の子たちは、杉並区立新泉和泉小学校と書くのですよね。そうしたら、杉並高円寺学園高円寺小学校と高円寺中学校というのが1個あったら、新校名の案が3つ。そのほうがわかりやすいのかと思ったのですけれども。</p> <p>杉並をどこに持っていくかで、同じようなのが何個も並ぶよりは、違うパターンがあるほうが、選ぶ側としたら選びやすいと思います。</p>
会長	<p>バリエーションですね。</p> <p>杉並高円寺学園というように新校名の前に、杉並を入れるというご意見が出ております。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今、多分あまり削っていつてしまっても、数は、5個か6個あってもいいと思います。5、6個ある中で、今のそういう意見は、多分ほかの皆さんもたくさんあると思います。その辺も含めてアンケートをとって、それで、さっきのような自由意見が出たらまたこちらで再検討ということになると思います。個人的には、さっき近くの委員ともお話したのですけれども、自由意見はないほうが、今後混乱がないのではないかと考えております。</p> <p>また、恐らく話が戻って、ここで再検討で、何でその自由意見がではだめなのかという話も議論しなければいけなくなると思いますので、この中でもう選んでくださいというほうがいいと思います。</p>
会長	<p>わかりました。自由意見についてはこの後考えていくということにさせていただいて、それほど絞らなくてもいいのではないかとご意見も頂戴しております。</p>
委員	<p>私どもがこうやって議論した中で、どれを取捨するかという話をしていますけれども、一般的にアンケートに回答する方というのは、もうそのときのインスピレーションではないですか。そうすると、それはもうそのまま、6つ並べれば6つの中で、やっぱり出てくるものだと思うので、それを見てから精査でもいいのかと思います。</p> <p>それと、あくまでも正式名称ですよね。実は私この間、新泉和泉小学校の運動会に行ってきた、お礼の封筒をいただいたのですけれども、「杉並和泉学園」とあり、「新泉和泉小学校」とも書いてあり、連絡先は「小学部」「中学部」と書いてあり、保護者に対するプリントを見ると「杉並和泉学園小学部保護者」と書いてあります。結局、使い方はもう、その都度やはりいろいろな形で決めていくものだと思うので、これはあくまでも正式な区立小中一貫教育校もしくは小学校、中学校の名称なので、もうぱっと見た目の形の率直な意見をいただくということによろしいかと思います。</p> <p>ですから、私は逆に、参考程度に、地域の皆さんがどういう思いがあるのかというの</p>

	を聞きたいというのがありますので、自由意見は書いてもいいのかと思います。
会長	ありがとうございます。 それでは、ほかにご意見があったらお願いします。
委員	先ほど「学園小学校」「学舎小学校」と、意味が重複するという意見がありましたけれども、これは要するに、高円寺学園の中の小学部という意味合いでつけばいいのかと思います。
会長	選択肢にあってもいいのではないかということですね。
委員	そうです。それは選択肢なので、あまり入れたくないということであれば話は別ですけども、そういう意味合いがあるのかと。むしろ小学部にしてしまってもよいぐらいです。
会長	ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。 それでは、意見の大勢としては、この6つはそのままという感じかと思うのですが、その前に「杉並」をつけるという案が1個出ておりますが、これについてはどうでしょうか。
委員	個人的な意見です。 高円寺はもう全国的に知名度があり、杉並よりも知名度が高いと思うので、高円寺で、もうストレートでよろしいかと思います。
会長	わかりました。ほかにはいかがでしょうか。 では、一応今の段階では、前回までにまとまったこの6つについては基本的に残す方向性かと思います。 これを減らしたほうがいいのか増やしたほうがいいのかという意見もあり、そのあたりのところは、この後も議論になるかもしれませんが、1つ解決しなければいけないのは、この自由意見についてですが、いかがでしょうか。現在は、自由意見欄が入っております。
委員	自由意見というのは、この中で選択した理由を書くということですか。これ以外のものを書くということですか。
会長	はい。ですので、全く新しい名前が出てくる可能性もないとは言い切れません。その下にその提案理由を書くこととなります。
委員	私はやはり6つに絞られていても、アンケートをとる中で、ほかの意見も出してもらって、そういう場所があったほうが良いと思っています。 結局それで上がってきたものがまたここで議論されていくので、あまりに変な意見は除外されると思うので、あったほうが良いと思います。
会長	あったほうが良いのではないかというご意見でございます。 ほかにはいかがでしょうか。特になくていいというご意見がそれほどはない感じですけども、方向性としてはよろしいでしょうか。 (「はい。」という声あり) ありがとうございます。では、応募内容については今のところ原案のとおりでいきたいと思います。 それでは、次にまいります。応募の範囲でございます。

	<p>現在の配布先、一番下のところをご覧になってください。懇談会委員、評議員、それから、児童、生徒、教職員、町会、自治体、子供園、保育園、幼稚園等に約 4,500 部配布しておりまして、それに加えて、地域に戸別配布を 2 万部予定しています。現在の配布先に加えて拡大するかというところがございますがいかがでしょうか。</p> <p>特にございませんか。</p>
委員	<p>この第 5 号を戸別配布すると、今までの 1 号から 4 号が届いていない先に配るということですね。</p> <p>それは配慮がどうかと思うので、もし配るのであれば、第 5 号とせず、何か違った形でのアンケート用紙のほうが望ましいかと思えます。5 号だけ配布されると、また違った形の意見が出てきそうな気がします。</p> <p>私は、配布は賛成です。</p>
会長	<p>では、戸別配布につきましてそのほかご異議がないようでしたら、第 5 号という形ではなくして、アンケートというような形に作成するというところでよろしいでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>確認させてください。もし第 5 号ということとしない場合には、通常の配布先に配らなくてもいいのではないかという考え方もできます。この後検討していただく募集対象、範囲外の方からの意見の扱いをどうするかというところにごく影響する話になるかと思えます。杉三、杉十、高南中にも子ども、保護者、保育園、幼稚園、町会にも通常はニュースを配っていますから、そこから応募がくる可能性は大いにあります。もしニュースという形ではなくて、番外編、地域を対象としたアンケートをとりますということであれば、やり方を変えられるのかと思えます。さらに、通常配布分と戸別配布では、3 校の子どもたちと町会と幼稚園等、重複して届きます。それならば、もう戸別配布だけとして、あとは、学校で配れば、保護者でも応募でき、子どもも応募できるという形になるのかと思えます。そこはやり方を検討いただければ、それに沿って準備を進めますので。混乱が少ないほうがいいかと思えます。</p>
会長	<p>それでは、配布範囲について、次の（3）の意見の取り扱いのところも含めてご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>先ほど、在学児童・生徒については学校でやっていただきたいというご意見があったかと思えます。</p> <p>戸別にも配布されるので、子どもたちには、重複して配布されることにはなりません。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>先ほどの学校で集めたらという意見なのですがすけれども、ごめんなさい、先ほど説明し忘れてしまったのですけれども、資料 3 の 1 の（4）に、学校のご協力を得て、児童・生徒に関しては、事務室の前かどこか校内に応募用ポスト、簡易な箱を置いておく方法でいいのではないかとはいえます。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>和泉地域では、たしかそうしていたと思えます。</p>
委員	<p>そうですね。保護者は保護者で学校に持ってきて回収というのは必要かと思うのですが、児童・生徒は強制するものでもないもので、ポストもよろしいかと思えます。</p>
会長	<p>学級活動か何かで配ると、100%回収になりますので、そのあたりも検討が必要ですね。ポストでいいのではないかというところがございます。</p>

	<p>そういうところも含めまして、配布範囲についてご意見をいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>お1人につき1回というのは、各家庭1回というわけではないので、別に戸別配布と重複しても構わないのかと思います。</p> <p>学校は学校でやっても、それは児童用となると思うし、戸別配布ということで来れば、それは各家庭の両親が意見を言いたいという立場で出せるので、別に重複してもいいのかと思います。</p>
会長	<p>重複しても構わないという意見です。</p>
委員	<p>これだけ重きを置いているということもあります。</p> <p>ただ、印刷代ということを考えて、減らしたいということになると話は別ですけども。各所に、いろいろアピールするという意味では、別に重複しても構わないと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。コストは考えなくても構わないと思います。そのようなご意見をいただければと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>町会、自治体、子供園とか幼稚園等はいかがですか。</p>
委員	<p>町会の加入率というのは、せいぜい50～60%です。だから、町会回覧では、全てにはいかないということです。</p>
会長	<p>ですね。それはそうですが、戸別配布になると、町会関係なくて全部配ることになります。</p>
委員	<p>例えば、私のところの町会は、実質は1,600幾つ世帯あります。でも、加入しているのは1,120くらいです。大体どこもそのようなものです。</p> <p>1つの解決方法は、南北の高円寺の関係する町会が、町会役員が協力いただけるならば、国政調査並に、構わずポストにどんどん投函して回るといふ、形をとれば、本当の全戸配布は可能にはなります。</p> <p>そのかわり、町会の役員をかなり動員する形になりますので、多分町会のほうへ相談かけないと、結論出せないかもしれません。</p>
会長	<p>なるほど。全戸配布の方法については、何か事務局で案がございますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>これまで、永福、和泉の際は、シルバー人材センターに協力いただいております。</p> <p>今回、ちょっと時期がまだ決まっていないのは依頼先の関係もありますので、実際人が足りるのかどうかも含めて、今検討しているところでございます。</p>
会長	<p>現在のところでは、町会の役員さんをお願いするというプランはないという理解でよろしいですね。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>こちらのほうで手配いたします。</p>
会長	<p>ということでございます。</p>
委員	<p>伺いたいですけれども、戸別配布したときの、回収率はどのくらいだったのですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>和泉学園が、約13,000部配布しています。通常のニュース配布先は数に入っていないと思うのですが。それで、応募数が230件くらいです。</p>

	永福小でいうと、18,500部出して、65件です。
委員	回収率も気になっていて、確かに新しい学校だから、皆さんからの校名はすごく重要なことなので、ちゃんと意見を伺ったほうがいいという考え方はあると思うのですが、どうなのかとってしまいます。
会長	今までの例だと、回収率はこのくらいというところを事務局から教えていただきましたので、恐らく高円寺もそれほど変わりはないかと思えます。
教育施設計画推進担当係長	それだけの回収率の中で、案が6個あれば、票が分散されます。多寡にはよらないですけれども、やはりその結果は影響されます。多いものを選ばないときの理由というのは、やはり考えていかなければならないですし、懇談会としては「どれに決まってもいい」という組合せ案を出したほうがいいと考えます。
会長	<p>恐らく6つの案につきましては、これを残そうという話になっておりますので、どれになってもきっと委員の方々としては大きな異議はないのではないかと理解はしております。また、その後の結果については説明が当然必要になってまいりますので、それも含めまして配布先についてということは、いかがでしょうか。</p> <p>特にご意見がなければ、ニュースという形ではないので、戸別配布とする方向性でよろしいでしょうか。</p> <p>となると、学校で配って、戸別配布で、重複することについては構わないですね。 (「はい。」という声あり)</p> <p>それでは、部数が多くて、事務局には手を煩わせることとなりますけれども、そのような形で、なるべく広い範囲に配っていただくこととしたいと思います。</p> <p>在校生についても、学校にポスト等を設置して集めるという工夫をしていきたいと思えます。</p> <p>応募方法については、資料のとおり郵送、FAX、Eメールというところで、児童・生徒は先ほど申しあげましたようにポストという対応で考えております。</p> <p>次のところの「※」ですが「氏名・住所は応募要件」ということになっております。先ほど委員から、この辺についてきっちり決めておいたほうがいいというご指摘をいただいておりますので、応募要件が不十分なものについては応募とは扱わないという理解でよろしいでしょうか。氏名・住所がない回答ですね。</p>
委員	氏名・住所はきちんとやはり書いていただかないと、無責任に書かれる方ももしかするといらっしゃるかもしれないので、できればきちんと住所・氏名を記名された方の募集したものに関してのみにしたほうがいいと思えます。
会長	ありがとうございます。ほかの委員からもご異議なければ、一応住所・氏名の記入は応募要件でいきたいと思えます。
委員	私もそれでいいかと思えますけれども、生徒はちゃんと書けると思うのですが、児童の場合は、住所は書かなくてもいいのではないのでしょうか。
会長	児童・生徒については、学校名と名前だけでよいと思えます。
委員	私も、学校名を書けば住所は書かなくていいかと思えます。あと、個人情報もあるので住所を何丁目まで等、最後まで書かない方も結構いらっしゃるかと思えます。

	<p>例えば、杉並区高円寺五丁目、一丁目のところで終わった方に関しても、それも最後まで書いていないとだめとされるのか、そこまで書いてあればよしとするのかということも確認が必要かと思います。結構それで書類はとおるところもあるので、その辺はどうかと思いました。</p>
会長	<p>今、小中学校については学校名でよいだらうというのは確認がとれたと思うのですが、住所については、例えば高円寺北一丁目、以上というようなケースについて事務局で何か問題はありますか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>重複した票がわかれば集約できますので、フルネームがあればいいと思います。 例えば「高円寺北一丁目 鈴木」だけだとどうしますか。それはなしでいいかというところを確認しておきたいです。同じ名字の方が多と思われる名字に関しては、重複がわからないですし、名字のみでは偽名も考えられます。フルネームであれば、重複がないかどうか確認していきますので、その突合作業ができる要件であると助かります。</p>
会長	<p>ということでございますので、北一丁目までであっても、フルネームであれば大丈夫という見解でございます。</p> <p>これについてのご意見をほかになれば、一応、住所・氏名要件については、そのようところで押さえていきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>（「はい。」という声あり）</p> <p>では、（５）番にまいります。募集の期間については、約１カ月程度というところはいかがでしょうか。</p> <p>特にご異議がなければ、一応１カ月をめどにということで、調査をしていきたいと思っております。</p> <p>（「はい。」という声あり）</p> <p>では、大きな２番の確認事項にまいります。</p> <p>一応、応募内容につきましては先ほどご意見を頂戴し、ここは学校づくりニュースとは分けるということで、先ほど確認してあります。</p> <p>次に、卒業生や今この区域に住んでいらっしゃらない方はどう扱いたいでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>通学区域内にしか配らないので、それ以外の方からは回答がこないのかと思います。</p> <p>次に、卒業生のご意見について、別途伺うのかどうかについて確認させてください。</p> <p>同窓会がいいタイミングで開催されるのか、そういった場でご意見を伺うのか、どこまで配慮するかということところです。</p>
会長	<p>卒業生の扱いについては、各校での宿題にさせていただきます。</p> <p>それから（４）番のところの、提案理由を応募要件とするかということにつきましてはいかがでしょうか。</p> <p>これについては、理由がないからだめというのはどうかという感じもしますけれども、どうでしょう。</p>
委員	<p>あまり厳しくすると、先行事例の回収率がすごく低いこともあるので、気軽に応募できる、気軽に参加できるほうがいいと思います。先ほどの住所要件もそうですけれども、あまり縛りがきつくないほうがいいのかという気はします。</p>

会長	<p>ありがとうございます。であれば、理由がなくても結果に含めるという形で確認させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい。」という声あり)</p> <p>ありがとうございます。では、アンケートの実施方法につきましては、大体整理できたかと思います。</p> <p>あとは、一応今のところでは、ニュースの形ではなくとなっておりますので、そこについてはまた事務局で案をつくっていただければと思います。</p> <p>ですが、5号のニュースについては、別途今後出されるということによろしいですね。</p>
教育施設計画推進担当係長	懇談会の進捗状況など、その議題を考え別途発行します。
会長	わかりました。ほかにこれについて事務局から何かご意見があるか伺ってもよろしいですか。
教育施設計画推進担当係長	そうですね。今回提示したたたき台をベースにテイストを変えることになります。今の時点で表現の点でこうしてほしいというのであれば、伺いまして、学校とご相談させていただいて、最終的に年内のアンケート実施に向けて準備を進めたいと思います。
会長	わかりました。では、ご一読いただいて、表現などについて意見があったら、今この場を出していただければ、よりわかりやすいものに修正されていきますので、よろしく願いいたします。少し時間をとりたいと思います。
(一読中)	
会長	それでは、ざっとご覧になられたことと思いますが、この場で何かご意見がありましたらいただいてもよろしいでしょうか。
委員	アンケートということになった場合、この委員名簿がいるかどうかです。あくまでもニュースではないので、外してもよろしいかと思います。
会長	このたたき台はあくまでもニュースであり、懇談会の内容を周知するスタンスではありますが、先ほどのところでニュースではない形になりましたので、外します。
委員	アンケートのところを、A4の半分ぐらいまで全部つくってしまって、切り取りしたらFAXも流しやすくなり、名字記載欄も大きくとれ、書きやすいかと思います。
会長	その辺は、紙面の関係で、もう少し様式を考えます。これははがきに貼れるようになっています。
委員	主な意見等や、候補とした理由というのは、この形ということですね。
教育施設計画推進担当係長	基本はこういう形にしたいです。
委員	候補とした理由のところ、小中学校名で、杉並をつけた理由は載っているのですが、杉並をつけていない候補名の理由も載せていただいたほうがいいかと思います。
会長	ありがとうございます。

	<p>そのようなことでも構わないので、ほかにあればお願いします。</p>
委員	<p>1枚目の一番下の少しあたりに「なお、新校名等正式な決定は、懇談会で候補名を選定した後、教育委員会に報告し、承認を得ます」となっているのですが、ここが一番ポイントだと思います。</p> <p>アンケートをすると、分かれたにしても当然数が出てきますから、そうすると最終的にここの選定はこの懇談会に委ねられてしまっています。多分6つで割れた場合に、例えば、どこかの名前に偏って、もう明らかにそれを選ぶしかないというような状況もいろいろ考えられますので、一番この2行がポイントなのかと思います。この辺はもう少し、我々として腹を決めておかないといけません。</p> <p>例えば、60%、70%の票を得たときに、それではなく「我々はこうだよ」ということが本当に言えるのかどうか、その辺がポイントかと思います。</p>
会長	<p>今後の検討材料にはなっていくものと思いますが、今の段階で事務局から何かございますか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今の委員のご心配なことはおっしゃるとおりで、多寡ではないといいつつも、得票数をどう扱うかというところだと思います。ですからこの6個でいいのかというところ、票がどれかに集まってもご納得いただける6個だということであればいいと思います。</p>
委員	<p>我々は、きょうで20回目ですから、19回、新校名に関しては4、5回かもしれませんが、議論を重ねてきているわけですね。そういった中で、多寡ではないという部分は、やはりそれは話できると思うのです。</p> <p>ただ、いきなりこのアンケートをもらった人にしてみると、学校名の募集をとるので、ここにやはり計画の概要的な説明を載せておく必要があるかと思います。</p> <p>そういったものに基づいて、この学校名を選びますという流れができますよね。そうなれば、多数が出たとしても、そういった計画のもとに私どもが議論する、選定するということは、問題ないとはいいませんけれども、筋は通るかだと思います。</p>
会長	<p>そこは必要ですね。掲載いたします。</p>
委員	<p>気になることは、アンケートが、例えば300回収できたとします。それで6つの案で、ならして見れば、平均が50ぐらいとなる。単純多数でいった場合、59とれたもの、48とれたもの、どれだけの差があるのだろうかというところです。単純多数の1票でも、多数は多数だということを認めていくのかだと思います。</p> <p>ですから、決め方として、例えば高円寺学園というくくりで1つ、学舎というほうで1くくり、どちらが多かったか、学園が多かったから学園の中で順序の高いほうを選ぶというような、参考意見としてのアンケートの数をどのように扱うか、ある程度考えていたほうがいいかもしれません。</p>
会長	<p>先ほどから多い少ないにはかわらずというようなご意見であったかと思います。</p>
委員	<p>それで、アンケート結果について、報告は行うのでしょうか。アンケートで何々が最高の意見、数が多く集まりましたと1行だけで済むか、全部について何票ずつ入っていたか報告をするのか。となると、懇談会で決定していったときに、単純多数第1位が選ばれなかったとき、どういう説明をつけていきたいと思いますか。根拠がしっかりあれば、</p>

	問題ないとは思いますが。
会長	それはもう、当然ついて回る話になります。 一応確認したいのですけれども、この今6個の案がありますが、再度これを白紙に戻しますか。
委員	例えば、何らその選択理由というのが、全部のアンケートの回答に記されていないければ、私は単純多数だと思えます。 やはり意見が出たときに、初めてその1票がどれだけの重みがあるかということをごここで議論しなければいけないかと思えますので、もし白紙に戻すのであれば、私はその時点だと思えます。 もう既に、ここまで選択肢を固めてある以上は、まずこれで私はアンケートをとり、地域の様子を伺うというのが、やり方ではないかと感じます。
会長	ありがとうございます。 一応私の理解では、委員の皆さまの総意として、この6つであれば、恐らく大きな異議はないのではないかと理解して進めてきたのですけれども、そうでないとなれば、ちょっと話が違ってくるかという気がしました。ここについては、よろしいでしょうか、この6つということ。 (「はい。」という声あり) であれば、その後の説明については、十分に対応していくことができるかと思えます。ほかに、ご意見がございませんか。 であれば、このFAXかはがきかという書きやすさの修正につきましては事務局にお願いしていいですか。
教育施設計画 推進担当係長	先ほどの意見でありました計画の概要はもちろん、少し見やすく書きやすく修正してまいります。
教育施設計画 推進担当係長	内容を追加し修正していく中で、そのバランスを考えFAX用やはがき用が残ればベストですが、がんばります。
教育施設計画 推進担当係長	また、学校の先生方と相談しながら作成いたします。
会長	では、事務局と学校と相談をしていきながら作成したいと思えます。 進め方としましては、できたら年内にとっていただいて、集計作業を経て、次の懇談会はその状況を受けてということになるかと思っております、1月の終わりか2月の頭ぐらいに開催し、この結果をもとに皆さんからご意見を頂戴するような段取りでいければと思えますが、よろしいでしょうか。 (「はい。」という声あり) それでは、事務局のほうはちょっと大変になりますが、年内実施に向けての準備をお願いしたいと思います。 次の議題に入りたいと思えます。次第の4「新校の校章、校歌について」でございます。 事前に資料をお配りしておりましたが、次回から校章・校歌についての意見交換を始

	<p>めたいと思います。</p> <p>一応本校の教育方針があらかた固まりましたので、それを受けてということもあろうかと思えます。きょうは前段階ということで、先行事例の作成経緯等についての情報共有を図って、次回の懇談会に向けて、どんなイメージで考えていくかというところを確認できればいいと思ひまして、本日の議題に入っております。</p> <p>では、事務局より資料の説明をお願いしてよろしいでしょうか。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>新校の校章・校歌につきまして、ご説明いたします。</p> <p>ただいま会長からお話ありましたとおり、本日は次回以降の意見交換に向けて情報共有というところで、皆様にさまざま資料をご用意しております。ご説明させていただきます。</p> <p>資料4、A4の横につきましては、杉四小、杉八小、高円寺中の現在の校章と校歌を紹介しておりますので、ご高覧ください。</p> <p>杉四小と杉八小、かなり校章似ていますけれども、記載のとおり、杉一小から杉十小のナンバースクールは、こういった形です。</p> <p>次に、資料5をご説明させていただきます。</p> <p>これまでの統合校の校章や校歌の選定方法を紹介しております。表面が校章、学園章、裏面が校歌、学園歌等ご紹介しております。</p> <p>校章、学園章等の選定方法を天沼小からご説明させていただきます。</p> <p>天沼小は検討回数5回、参考程度に入れさせていただいていますが、コミュニケーションマークというものもございます。それは後でご説明させていただきます。</p> <p>校章の決め方です。ニュースを配布して、両校の児童・保護者、地域から、まず図案を募集しました。図案を募集して、その図案の候補をまず協議会で絞り、候補案をまた絞った形で同じようにニュースに掲載して、もう1回アンケートをとっています。アンケート結果をもとに、今の校章を決めて、やはり児童からさまざまな図案が出てきて、捨てがたいものがあり、子どもたちの統合の証としてコミュニケーションマークというものを残したらどうかということで、作成したものでございます。</p> <p>天沼小の校章のイメージですけれども、参考資料2は、図案を募集する協議会ニュース第8号で、参考資料3が、絞られた図案の中から募集するというアンケートを協議会ニュース第9号として発行しております。</p> <p>今の校章の図柄は、杉五小、若杉小、2つの小学校から誕生しておりますので、その2つの杉五小の「杉の枝」、若杉小の「杉の若葉」を残した形で、真ん中に天沼と入れて2つの学校が統合して生まれた新たな天沼小が大地にしっかりと根をはり、大樹へと育っていくような願いを込めていますという意味で決定しております。</p> <p>コミュニケーションマークにつきましては、天沼小がはじけている感じでいいのではないかなという意見から、この絵が選ばれております。</p> <p>次、永福小につきましては、同様にコミュニケーションマークがございます。校章が、永福地域の歴史を継承する学校として、永福小の校章をそのまま継承したという形になっております。ですので、統合の証として何か残したいということで、子どもたちに対してコミュニケーションマークを募集しました。今、学校ではコミュニケーションマー</p>

クのほうでいろいろな案内等がつくられていまして、卒業証書等、定められたものだけは校章でやっているというような状況でございます。

まず、図案の募集が、参考資料4、ニュースとかではなくて、学校の先生と相談して作成したアンケートをお配りしております。学活等で書いてもらったと伺っております。

その中で選ばれたものがコミュニケーションマークですが、その内容は、永福の「永」という文字に近いような、遠くから見たらそう見えると思うのですけれども、真ん中の葉っぱのようなのは、永福小学校のシンボルツリー、けやきの芽をイメージしたものです。にこにこした子どもたちが2人並んでいるのが、永福南小学校と永福小学校、2つの学校が仲よく1つになるということが表現してあるというような絵になっているので、これが選ばれております。

杉並和泉学園に関しましては、学園章のみで、コミュニケーションマークはございません。子どもたちにコミュニケーションマークというよりは、校章をどう考えるかというところに関して参加させたいというような声も大きくて、学園章1本でいいのではないかとということになってございます。

まず、参考資料5にありますとおり、子どもたちから学園歌も含めて、泉、あふれ出す等、そういう新校のイメージの言葉をアンケートをとって、その言葉のイメージを専門家の方にお伝えし作成をお願いしたところです。

学園章は専門家に図案を複数作成依頼し、部会のほうで候補を絞り、議論を重ねた上で、この校章ができたというところでございます。

デザインのイメージとしましては、新しく生まれる学園は、伝統的な校章の形に捉われず、小中一貫教育という新しい教育にふさわしい形をイメージしています。上部の冠は、泉に落ちた滴が広がったミルククラウンをイメージしています。9つの突起は、小中9年間を象徴。左右に取り巻くこのパターンは、泉から湧き出る水しぶきをイメージしています。「IZUMI」の下の3つの矢印が合体した形は、3つの学校が1つになり、その1つの学校が上に向かって、小中一貫教育校として進んでいく思いと、両手を広げて健やかに育つ児童・生徒をイメージした学園章だということで、この図柄にまとまったという状況でございます。

裏面をご覧ください。

校歌につきましては、天沼小、永福小、杉並和泉学園、やはりこれはもう、専門家ではないとできないというところになりますので、「こういったものでつくってください」というものを懇談会で少しまとめて、イメージを伝えて、作者をお願いしています。その作者を誰にするかというところを懇談会で、提案していただいて、高円寺にゆかりのある方、杉並にゆかりのある方、案を出していただきます。和泉や、永福もそうなのですが、この人に頼んでほしいというのを順に並べて、その方がやっていただけるかどうか伺っていくことになります。

先行事例3校の歌詞はここに表記しているのですが、これだけではわからないので、本日、音源を用意しておりますので、お聞きください。

よろしいでしょうか。

会長

お願いします。

教育施設計画 推進担当係長	天沼小です。作詞、谷川俊太郎さん。作曲、谷川賢作さん。副題は、「世界は不思議で いっぱいだ」です。
(天沼小校歌)	
教育施設計画 推進担当係長	<p>天沼小は以上になります。和泉と同様、天沼小でも歌詞やフレーズを募集して、結果 を作者に提示しまして、それをもとにつくっていただいた歌になります。</p> <p>永福小につきましては、何かアンケートをとったわけではなく、作詞者、作曲者が地 域に来てくれるような方、イメージがちゃんと湧いてつくってくれるような方にお願 いしたいというところで、いろいろお願いしている中で、永福小は、作詞、タケカワユキ ヒデさん。作曲、吉川慶さんがつくっていただくこととなりました。</p>
(永福小校歌)	
教育施設計画 推進担当係長	<p>永福小学校でした。最後のほうに、「やさしく、つよく」というフレーズがあったか と思いますが、これが永福小学校の教育方針だったものですから、それを校歌にも入れて くださったところがございます。</p> <p>では、次に、杉並和泉学園です。最初の議論として、小学校の校歌と中学校の校歌、 それぞれあってもいいのではないかというところから始まったのですけれども、やはり 校名と同じように、いろいろなところで歌う機会があるとはいえ、小中一貫教育、これ からいろいろさまざま連携していく中で同じ式に出る等していく中で両方歌うのも変だ というようなご意見もあって、9年間統一した歌がよいのではないかというところで、 学園歌1本になっております。</p> <p>ですが、小学生が歌うのと、中学生が歌う音域が違うというところもありますので、 つくっていただく方にお願したのは、音域のこと、二部合唱等もイメージしたものを 最初からつくってくださいとお願いしてございます。あとは、先ほど子どもたちから募 集したフレーズとかを提示しておりますので、そのイメージも入れ込んだ歌になってお ります。</p> <p>作詞、作曲は山崎朋子先生です。</p> <p>小学生と中学生が両方で歌っている合唱の音源になります。</p>
(杉並和泉学園学園歌)	
教育施設計画 推進担当係長	<p>杉並和泉学園の学園歌は以上になります。お聞きいただきましてありがとうございました。</p> <p>私からの説明は以上となりますけれども、次回以降、校章と校歌、こういった形で制 作していくか、あと、専門家に両方お願いするのか、校章になりますので、子どもたち の絵だけではやはり心もとないということもご意見としてはあるかと思っておりますので、そ ういったところをまずどうするのかという手順を決めていただきたいと思います。</p> <p>もし専門家にお願いするというのであれば、高円寺地域でゆかりのある方、「杉並で この方がいいのでは」という方がいらっしゃればご提案いただきたいと思います。こち らからもご提案をしようとは思いますが、やはり高円寺地域の皆さんのほうが、高円寺 地域の方々、専門の方をご存じなのかと思っておりますので、ご提案いただければと思っ ているところがございます。</p>

	<p>そういった点も含めて、次回イメージを膨らませておいていただいて、次回以降また忌憚ない意見交換ができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。3校の校歌も聞かせていただきまして、本当に感謝しております。</p> <p>今もございましたが、本格的なご議論につきましては次回になろうと思います。</p> <p>今、いろいろな経過、ほかの学校の例等をご説明いただいたのですが、これにつきまして、何かご質問がございましたら、この場でお願いいたします。</p>
委員	<p>この懇談会の皆さんは、3校の校歌をご存じなのかどうかだと思います。新しい学校はもちろんそうなのですが、まずやはり3校の校歌が、ちゃんと皆さん一度、一緒に聞くという機会を設けていただければと思います。</p>
会長	<p>今回は新しい学校を視聴してきましたが、次回は、2つの小学校と中学校の校歌をまず聞きましょう。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>では、具体的なお話は次回以降ということになろうと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、本日の議題につきましてはおおむねここで終了となりますが、その他ということで事務局からございますでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>事務連絡です。会議録と懇談会の日程になります。</p> <p>会議録につきましては、いつも確認していただきましてありがとうございます。きょうの分もまたお送りしますので、何かございましたらご連絡いただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>あと、今回の懇談会ですけれども、校名等のアンケートですが、年内中にアンケートがとれれば、1月中に集計をしまして、1月末か2月上旬ぐらいには開催できればと思っておりますが、かなり期間があいてしまいます。ですので、その間に、12月中旬ぐらいで考えたいところですが皆さまもお忙しく、日程があわないところですから、欠席者の多い中、無理して開催しなくてもよいかも思っております。これは今後校長先生方ともご相談していきます。</p> <p>ですので、今回の日程調整につきましては、予定が決まり次第、事務局からまたご連絡させていただきますので、ご協力いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。次回日程につきましてのご説明がございましたが、今のような進め方でよろしいでしょうか。特にご異議なければ、そのようなご提案どおり進めていきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様から、何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどもお話ししましたが、私、杉並和泉学園小学校の運動会を見てきました。皆さんも視察に行かれましたけれども、まだ校庭ができず、旧校舎が残っているところだったと思うのですが、もう芝生も整備され、ただ、スペース的には小中合同ではできないというお話もありましたし、学園長からは、中学校の長縄は芝生だとできない等、さまざまな意見等もいただきました。</p>

	<p>今回私どもの新しい学校に関しては、杉並和泉学園より少し狭くなります。トラックも和泉は 140 だと伺いました。そういったものを鑑みて考えると、将来的にこの新しい学校は、私は小学生が 500 弱、中学生が 200 弱ぐらいに膨らむのかと思っています。教室数に関しては十分確保しているのかと思うのですが、やはり校庭に関しては若干、いろいろな活動をするには手狭なのかと思っています。</p> <p>そのときに、以前部活等の活動に関しては、杉四小の校庭というお話も出ましたけれども、施設再編整備計画の中で新しい施設のお話も、この間説明会でもあったと思うのですが、例えば、子供園や保育園、そういったもので活用となると、もう園庭なのですよ。そうなったときに、きっちりと使用できるのかどうかというところをやはり懇談会としては、意見をしていきたいと私は思っておりますので、次回、随分先になってしまうので、意見提出も終わってある程度の案というのが出てくると思います。その部分を皆さんにも一緒にお考えいただいて、ぜひそういった意見が出た場合は、杉四の校庭の活用を必要とするという点を念頭に置いていただければと考えております。</p>
学校教育担当 部長	<p>基本的には、若干校庭が狭いというのは、この懇談会の中でも大分議論いただきましたけれども、教育委員会としては、やはり一貫校として機能的にも今の校庭で完結したいと思っています。</p> <p>施設再編整備計画の中で、杉四、杉八の跡地のパブコメを実施しました。その中で、杉四跡地をどう活用するかどう補完するかというところの意見を伺ってはいきたいと思えます。けれども、校庭の一部、学校の機能の一部を跡地を活用してどうかという話というのは、そこまでは、きょうの時点では非常に難しいかと思っています。</p>
委員	<p>やはり、今後ふえるという想定をした中で、新しく新設された高二小も、既に教室が足りないという状態になっている。この新しい学校に関して教室の問題はないと思うのですけれども、やはり校庭。雨天のときは体育館を使わなければいけない。体育館も限られたスペースになってしまう。先般、武道に関しても、体育館で行うということではできますけれども、スペースの数としては当然減少してきているわけですので、後から必要になったとって、ものがなければだめなわけですよ。やはりそういったところまで視野に入れたという部分は、ぜひご検討等いただきたいと思えます。</p>
学校教育担当 部長	<p>意見として伺います。</p>
会長	<p>ほかに委員さん方からございますでしょうか。</p> <p>では、また次回日程につきましては後日、事務局のほうから連絡させていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、第 20 回の懇談会を終わります。ありがとうございました。</p>